

## 研究主題「豊かな創造力を育むための授業の挑戦」 ～美術教育における「楽しさ」とは～

### I 本研究会の概要

本会は東京都中学校美術教育研究会の研究並びに会員相互の親睦を図ることを目的とし、東京都中学校各地区美術教育研究部を母体とし、中学校美術教育に関係ある教職員を会員として構成する。

[専門部] 教科研究部・広報部・行事部（休部）

[事業] ①美術教育に関する調査研究ならびにその発表

②協議会、講習会、展覧会、視察、見学、研究事業

③意見の公表ならびに建議

④会員相互の親睦

⑤その他本会の目的達成に必要な事業

### II 本研究会の活動方針

【美術科教員相互の連携を図り、授業力を向上するための研修を行う】

少子化により学校規模が縮小し、美術科教員が1名の学校や、専任がおらず講師のみの中学校が増えています。各区市町村の美術研究会とともに本会が担うべき大きな役割は、美術科教員相互の連携を図り、教科指導の専門性を高める学びの場を提供することであると思います。夏季教科研修会等を通じて優れた実践や新たな視点について情報を共有し、若手教員に対してはベテラン教員がこれまで培ってきた指導方法や題材の工夫を伝えるなど教育資源を次代へつなぎ、美術科授業の質の安定と一層の向上を図る取組を推進しています。

【中学校美術教育についての実践的な研究を行い、成果を発信する】

東京都中学校美術教育研究大会第8・9・10ブロック東大和市大会を開催します。美術科授業の工夫・改善について、研究成果を発表します。

【関係団体と連携し、広く美術教育の充実・発展に寄与する】

全国造形教育連盟、関東甲信越静地区造形教育連合、国立西洋美術館や武蔵野美術大学など造形美術関連の諸団体と連携し、積極的な情報連携等を通じて地域・校種を超えた美術教育の充実・発展に努めます。

### III 研究の目的

中学校美術科において、「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習活動の質を向上させるためには、造形的な見方、考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させて学習を充実させることで、美術を学ぶことに対する必要性を実感し、目的意識を高めるなどの「主体的な学び」の視点が大切です。さらに、自己との対話を深めることや、表現において発想や構想に対する意見を述べ合ったり、鑑賞において作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合ったりすることなどの「対話的な学び」の視点も重要です。今年度の活動にあたっては、これらの視点に着目し、生徒の「深い学び」につながる中学校美術教育の在り方について研究・研修を推進します。

### IV 令和6年度の活動

5月14日 令和6年度東京都中学校美術教育研究会総会・研修会  
東大和市民会館ハミングホール

8月2日 夏季研修① 作品持ち寄り研修  
武蔵野美術大学

8月7日 夏季研修② 実技研修（ジオラマ制作を通じた指導案検討）  
渋谷区立原宿外苑中学校

8月22日 夏季研修③ 美術館研修（対話による鑑賞プログラム）  
国立西洋美術館

12月26日 都中美管理職研修会①、教科研究部研修会①  
渋谷区立原宿外苑中学校

1月21日 第41回東京都中学校美術教育研究大会第8・9・10ブロック東大和市大会  
東大和市民会館ハミングホール

3月26日 都中美管理職研修会②、教科研究部研修会②  
渋谷区立原宿外苑中学校

V 研究・研修の取組内容

夏季研修① 作品持ち寄り研修 武蔵野美術大学

参加者自身が指導し制作させた生徒作品を持ち寄り、小グループで作品紹介、鑑賞会や情報交換などを行いました。各々の実践発表を熱心に聞き入り、題材を通して育てたい力やそのための手立てや工夫した点、観点別評価を見とるポイントなど情報共有を行い、実際の授業に活かすヒントを学び合うことができました。また、研修最後には武蔵野美術大学の冨井大裕教授による「わからない彫刻」、三澤一実教授による「美術教育の在り方と造形実験」などについて講義を受け、生徒一人一人が感性や想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくり出すことを大切にしなければならぬことを再確認することができました。

夏季研修② ジオラマ制作実技研修 渋谷区立原宿外苑中学校

講師にプロモデラーのオオゴシ トモエ氏をお招きしジオラマ制作の実技研修を行いました。参加者一人ずつが想像したイメージを葉書サイズの板材に樹脂粘土を中心に加飾し、個性豊かなジオラマを創出しました。その後、ジオラマ制作の授業案を立案しグループに分かれ、題材研究と実際の授業に活かすヒントなどを協議し合い学びを深めました。



夏季研修③ 美術館研修 (対話による鑑賞プログラム) 国立西洋美術館

国立西洋美術館の常設作品を活用した対話による鑑賞を体験し、グループ協議を行い、実際に対話による鑑賞プログラムを実践しました。参加者は対話型鑑賞の面白さを味わい、ファシリテーターと鑑賞者が変わることにより、どのようなギャラリートークになるのか、グループで互いに披露し合い、鑑賞者との対話で作品の見方・考え方を深めました。限られた時間でのギャラリートークでしたが、対話を中心とした鑑賞の授業を実際に自校の生徒に行う上で、鑑賞指導のヒントを学ぶことができました。

VI 研究大会 (予定)

令和6年度 第41回 東京都中学校美術教育研究大会  
第8・9・10ブロック東大和市大会

・日時 令和7年1月21日(火) 13:30~16:30

・会場 東大和市民会館ハミングホール

・大会テーマ 「豊かな創造力を育むための授業の挑戦」  
~美術教育における「楽しさ」とは~

・分科会テーマ

1 ICTを活用した「楽しい授業」への挑戦

2 生徒に委ねる「楽しい授業」への挑戦 ~つくり、つくりかえ、つくりだす~

3 対話を活用した「楽しい授業」への挑戦 ~個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実~

・講師

文化庁参事官(芸術文化担当)付教科調査官

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官

平田 朝一 先生

<令和6年度連絡先>

団体名		東京都中学校美術教育研究会	
代表者	所属	江戸川区立春江中学校	
	職 氏名	校長 横枕 耕史	
	連絡先	03-3678-9241	
事務局	所属	渋谷区立原宿外苑中学校	
	職 氏名	副校長 奥井 伸	
	連絡先	03-3402-7526	
団体ホームページ	URL		二次元コード
		<a href="http://totyubi.sakura.ne.jp/">http://totyubi.sakura.ne.jp/</a>	